

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 蓬莱作成日 令和 02 年 3 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	資格を持ち経験の長い職員が定着している。安定はしているが、5年、10年先を見据えた経営の安定と発展を目指し、若手職員の確保と育成を目指していく。	職員の経験や勤務年数に合わせた外部研修受講を促し、スキルアップを図ると同時に、10年先を見据えた人材を確保し、法人の理念を繋げていく。	12ヶ月
2		これからのグループホームの在り方について	毎年法律が変わり、中期・長期計画が策定出来にくい中で、職員の希望や働く意欲に繋がる将来の展望を描き、目標に向かって取り組む中で、職員間のチームワークを高めていく。	働きやすい環境の中職員が定着し、利用者との馴染みの関係の中で介護サービスを提供しているが、職員間のレベルの差が利用者への介護サービスに現れないように、報連相(ほうれんそう)の徹底を図り、チームでケアする安定した体制を築いていく。	12ヶ月
3					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。